出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	枝番	工種	測定	項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
1 共通編	2 ± T	3 河川・海岸・砂防土工	2		掘削工	基準法長ℓ	高 ▽ ℓ < 5 m ℓ ≥ 5 m	±50 -200 法長-4%	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 基準高は掘削部の両端で測定。		
1 共通編	2 ± I	3 河川・海岸・砂防土工	3		盛土工	法長ℓ	高 ▽ ℓ < 5 m ℓ ≥ 5 m	-50 -100 法長-2% -100	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 基準高は各法肩で測定。		
1 共通編	2 ± I	3河川・海岸・砂防土工	4		盛土補強工 (補強土 (テールアル メ) 壁工法) (多数アンカー式補強 土工法) (ジオテキスタイルを 用いた補強土工法)	厚控え	高 ▽ さ t 長 さ	-50 -50 設計値以上	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。	t	

摘 要

規格値

測 定 基 準

測

定 箇 所

章

節

枝番

条

I

種

測定項目

/=	<u> →</u>	<i>p</i> -/	<i>F</i>	4+ 777		70d -	, TA C	+13 +17 /=		\u00e4\u00e	単位: mm
編	章	節	条	枝番		·	望 月	規格値	測 定 基 準 	測 定 箇 所	摘要
1 共 通 編	2 土 工	4 道 吸	3 4		路体盛土工 路床盛土工	基準	高 ▽ ℓ<5 m	±50 -100	施工延長20mにつき1箇所、延長20 m以下のものは1施工箇所につき2 箇所。 基準高は、道路中心線及び端部で測 定。	w ₂	
		路 土 工				法長ℓ	ℓ≧ 5 m	法長 – 2%			
						幅	W ₁ ,W ₂	-100	た。	TRIBITIES	
1 共	2 土		5		法面整形工(盛土部)	厚	厚 さ t ※-3		施工延長20mにつき1箇所、延長20 m以下のものは1施工箇所につき2 箇所。法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。	t /7	
通 編	I	路 土 工			(無工品)						
1 共 通	3 無 銃	フ 鉄 筋 エ	4		組立て	平均間	引隔 d	±φ	d= <u>D</u> n-1 D: n本間の延長 n:10本程度とする		
編	筋、 鉄 筋					かぶ	り t	±Φかつ 最小かぶり以上			
	コンク								Φ:鉄筋径工事の規模に応じて、1リフト、1	D	
	у Г								ロット当たりに対して各面で1箇所以上測定する。最小かぶりは、コン		
	 								クリート標準示方書 (設計編13.2) 参照。ただし、道路橋仕方書の適用		
									を受ける橋については、道路橋示方 書(Ⅲコンクリート橋編6.6)によ		
									る。 注1) 重要構造物かつ主鉄筋につい		
									て適用する。 注2)橋梁コンクリート床版桁(PC		
									橋含む)の鉄筋については、第3編 2-18-2床版工を適用する。		
									注3)新設のコンクリート構造物 (橋梁上・下部工および重要構造物 できる アカア (株子) とのボック		
									である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート(工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象		
									外)) の鉄筋の配筋状況及びかぶりに ついては、「非破壊試験によるコンク		
									リート構造物中の配筋状況及びかぶ り測定要領」も併せて適用する。		